

科目コード	2697173	【授業内容】 グローバル化によって食料関連産業は世界的に寡占化が進み、我々を取り巻く食と農のあらゆる仕組みは「フードシステム」と呼ばれる新たな枠組みに統合されつつあります。その一方で、地産地消など食と農のローカル回帰に向けた運動が世界規模で高まりを見せつつあります。 本講義ではグローバリズム下におけるフードシステムの仕組みや課題を理解した上で、そうした中での食や農を中心とした地域産業のマネジメントに関するケーススタディを行い、地域の食と農を今後どのように展開・統治していくべきかについて考える力を身につけます。 【到達目標】 グローバリズム下における食と農のフードシステム化の現状や諸問題、それに対抗する地域資源を活かした地域産業のマネジメント手法を理解することができる。その上で、地域内のアクターによる共存・共生・共創を通じたよき食と農のマネジメントについての確に判断し、その展開方向について論じることができる。 【授業テーマ】 第1回 グローバリズム下におけるフードシステムの現状と問題 第2回 食と農を取り巻く環境変化とマーケット 第3回 地域課題とは何か：農山村地域を取り巻く現状と問題 第4回 農業とは何か：園芸農業の構造と産地マネジメント 第5回 地域資源と共同・共創の論理：経営学に基づくリソースと付加価値のマネジメント 第6回 ケーススタディ：危機を契機としたソーシャル・イノベーションの事例 第7回 ケーススタディ：地域と人間中心のマネジメントによる産地リノベーションの事例 第8回 よき地域の食と農のマネジメントの展開に向けて 【学生へのメッセージ】 カンブリア宮殿やガイアの夜明けなど、最新の地域課題や地域の食・農関連企業やを多く特集したTV番組を積極的に視聴するようにしてください。 【受講前の準備学習等】 自身の出身地や関心を持つ地域の地域資源、地域内の食農関連産業や企業についてあらかじめ調べてメモを作り、受講時に持参してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	山口学習センター	
学習センターコード	35A	
クラスコード	K	
科目名	地域食農マネジメント	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ミヤイ ヒロシ 宮井 浩志 山口大学教授	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月18日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	山口学習センター	授業概要 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・地域産業の経営革新と流通・マーケティング戦略：地域産業の振興と地域創生（西田安慶・岡本純・岩本勇・河田賢一・丸山一芳／千倉書房／¥3,300／ISBN=9784805112984） ・地域産業の発展と主体形成：食と農、資源を活かす（北川太一／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595141348） ・フードシステムと日本農業（新山陽子／放送大学教育振興会／¥3,190／ISBN=9784595323454） 【その他（特記事項）】 8回目の講義後に最終レポートを作成・提出します。所定の用紙に手書きする以外に、持ち込んだスマートフォンやタブレット、パソコン（ノートPC推奨）でレポートを作成して提出しても構いません。ただし、学習センターには学生が使用できるプリンタはありませんので、キャンパスメールに作成したファイルを添付して提出します。提出先は授業当日に指示します。提出様式はMicrosoft Word（バージョンは問いません）、もしくはPDFファイル形式とします。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。また、端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。